オブジェクト(テーブル)の定義情報の表示 オブジェクト(プロシージャ)の呼出し名と引数の表示 生成されているオブジェクト名の一覧

- 1. SQL*Plus にて、オブジェクトの呼出しインターフェイス調査
 - ・テーブル、インデックス、の項目定義の表示
 - ・パッケージ、プロシージャ、ファンクションのインターフェイス(呼出し引数)

DESC <オブジェクト名>

describe <テーブル名>

- ※ オブジェクトにパッケージ名だけを指定すると、プロシージャ名、ファンクション名の一覧とその引数の一覧が表示される
- 2. パッケージの呼出し方法調査

呼出しプロシージャ名と受渡し引数の情報提示

DESC <パッケージ名>

(使用例)

DESC FCOPY

PRODEDURE	Argument Name	Туре	IN/OUT	Default
FCOPY FCOPY FCOPY FCOPY FCOPY	SRC_LOCATION SRC_FILENAME DEST_LOCATION DEST_ FILENAME START_LINE END_LINE	VARCHARA2 VARCHARA2 VARCHARA2 VARCHARA2 BINARY_INT BINARY_INT	IN IN IN IN	unknown unknown unknown unknown unknown unknown

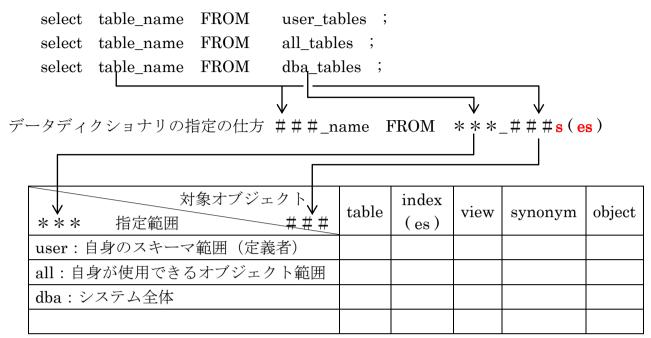
FGETPOS(FUNC)<RETURN VALUE> BINARY_INT OUT

unknown

•

.

3. 生成されているオブジェクトの一覧表示(データディクショナリ)



※ objects には、プロシージャやプログラム名が含まれます

```
select table_name from user_tables;
select index_name from all_indexes;
select view_name from dba_views;
select synonym_name from all_synonyms;
select object_name from dba_objects;
```

SELECT object_type, object_name, status FROM user_objects order by object_type, object_name; ここで、status が「INVALID」となったものが、エラーが発生しているオブジェクトです

select username from dba_users ;

OBJECT_TYPE: INDEX, INDEX PARTITION, LOB, PACKAGE, PACKAGE
BODY, PROCEDURE, QUEUE, SEQUENCE, SYNONYM,
TABLE, TABLE PARTITION, TRIGGER, TYPE, VIEW

4.	OEM (Oracle Enterprise Manager) での操作
	[スキーマ]タブ→データベース・オブジェクト・セクションの「表」or「索引」o
	「ビュー」
	スキーマ .
	オブジェクト .
	この2つに文字を入れて、「実行」ボタンをクリックすると、検索ができます

出力された結果一覧のオブジェクトの名前部分をクリックすると、データ型、項目の 定義サイズを表示できます